

13 簡易水道事業会計

令和3年度より地方公営企業会計基準に則った会計制度への移行を行なった。

1. 収支の状況

(1) 収益的収支の状況 (3条決算)

収益的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額 (4年度)		決算額 (5年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
簡易水道事業収益	157,751,098	100.0	197,270,688	100.0	39,519,590	25.1
1. 営業収益	95,494,697	60.5	96,459,549	48.9	964,852	101.0
2. 営業外収益	62,256,401	39.5	100,811,119	51.1	38,543,608	61.9

収益的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額 (4年度)		決算額 (5年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
簡易水道事業費	147,189,005	100.0	189,519,917	100.0	42,330,912	28.8
1. 営業費用	132,484,978	90.0	181,389,629	95.7	48,904,651	36.9
2. 営業外費用	14,704,027	10.0	8,130,288	4.3	△6,573,739	△44.7
3. 特別損失	0	0	0	0	0	0

○収益的収支について

本年度の簡易水道事業収益は 197,270,688 円であり、内訳として水道使用料及び量水器使用料 96,054,549 円、手数料 405,000 円、一般会計繰入金 26,967,000 円、長期前受金戻入 26,040,748 円、受取利息 205 円、雑収益 1,548,490 円となった。簡易水道事業費用は 189,519,917 円であり、内訳として原水 322,871 円、浄水費 19,183,489 円、配水費 51,218,024 円、総係費 14,592,301 円、減価償却費 90,386,395 円、資産減耗費 5,686,549 円、支払利息 7,966,988 円、消費税及び地方消費税 163,300 円となった。

(2) 資本的収支の状況 (4条決算)

資本的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額 (4年度)		決算額 (5年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
資本的収入	282,500,000	100.0	198,330,586	100.0	△84,169,414	△29.8
1. 企業債	19,300,000	6.9	29,600,000	14.9	10,300,000	53.4
2. 一般会計繰入金	13,566,000	4.8	12,000,000	6.1	△1,566,000	△11.5
3. 補償金	248,734,000	88.0	147,030,586	74.1	△101,703,414	△40.9
4. 基金繰入金	900,000	0.3	9,700,000	4.9	8,800,000	977.8

資本的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額（４年度）		決算額（５年度）		翌年度 繰越額	前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比			
資本的支出	231,249,169	100.0	376,128,468	100.0	48,000,000	134,798,654	58.3
1. 建設改良費	145,896,572	63.1	290,707,561	63.1	48,000,000	134,489,572	92.2
2. 固定資産購入費	628,815	0.3	6,485,732	0.3	0	5,856,917	931.4
3. 企業債償還金	79,506,625	34.4	73,717,970	34.4	0	△5,788,655	△7.3
4. 基金積立金	5,217,157	2.2	5,217,205	2.2	0	48	0.0

○資本的収支について

本年度の資本的収入は198,330,586円であり、内訳として企業債29,600,000円、一般会計繰入金12,000,000円、補償金147,030,586円、基金繰入金9,700,000円となった。

資本的支出は376,128,468円であり、内訳として水道施設費81,604,600円、リニア関連水道水源対策事業209,102,961円、固定資産購入費6,485,732円、企業債償還金73,717,970円、基金積立金5,217,205円となった。建設改良費48,000,000円を次年度へ繰越した。

本年度の水道施設費は、老朽化した施設の機器等更新（神戸ポンプ室送水ポンプ更新、大山高区検水機器更新等）及び量水器取替工事を行った。

2. 事業の実績

(1) 簡易水道の状況及び実績

区 分		三留野・妻籠	北部	大山・蘭	川向	田立	合計
計画給水人口（人）		1,676人	281人	735人	345人	964人	4,001人
給水区域内現在人口		1,373人	231人	641人	280人	796人	3,321人
現在給水人口（人）		1,364人	227人	641人	280人	795人	3,307人
給水戸数（戸）		647戸	87戸	295戸	125戸	340戸	1,494戸
水源の種類	表流水	1		1		2	4
	伏流水			2	1	1	4
	湧 水	2	4				6
一日平均配水量（m ³ ）		681 m ³	126 m ³	423 m ³	206 m ³	268 m ³	
一日最大配水量（m ³ ）		832 m ³	171 m ³	594 m ³	336 m ³	332 m ³	
年間配水量（m ³ ）		249,310 m ³	46,269 m ³	154,809 m ³	75,367 m ³	98,002 m ³	623,757 m ³
有収水量（m ³ ）		155,084 m ³	25,131 m ³	99,208 m ³	32,610 m ³	79,406 m ³	391,439 m ³
有収率 令和４年度		66.9%	53.1%	66.4%	44.7%	79.2%	65.0%
有収率 令和５年度		62.2%	54.3%	64.0%	43.3%	81.0%	62.8%

- ・給水原価（水道水 1 m³当たりの製造単価） ※リニア事業を除く
＝経常費用（営業費用＋営業外費用）－長期前受金戻入÷有収水量＝281.3 円（前年度 293.8 円）
- ・供給単価（水道水 1 m³当たりの販売単価）
＝料金収入÷有収水量＝223.1 円（前年度 226.1 円）
- ・資本費
＝（地方債償還金＋支払利息）÷有収水量＝208.7 円（前年度 232.2 円）

（２）使用料関係

①料金

下記の使用料は平成 30 年度に改定されたものである。人口減に伴う料金収入の減少と施設の老朽化が今後顕著になることが見込まれる中、持続可能な水道事業の経営をしていくため、定期的に料金設定の見直しについて検討していく。

②メーター検針業務の外部委託

平成 18 年 4 月からメーター検針業務を町内民間の方 4 名に委託している（検針は 2 ヶ月に 1 回実施）。平成 30 年度からは検針員の業務中の事故について保険対応ができるよう個人委託員傷害保険に加入している。

③料金システム

㈱電算の水道料金システムを利用し、料金徴収事務を実施した（平成 18 年 4 月から）。

④水道使用料（消費税抜き）

（単位：円）

基本料金			超過料金	
口 径 別	1 ヶ月当たり	円	(1 m ³ 当たり)	
φ 13mm	10 m ³ まで	1,638	11 ～ 20 m ³	163
φ 20mm		1,844	21 ～ 40 m ³	183
φ 25mm		2,152	41 ～ 60 m ³	224
φ 30mm		2,766	61 m ³ ～	245
φ 40mm		3,380	プール	71
φ 50mm		3,894		
φ 75mm		4,610		

⑤量水器使用料（消費税抜き）

（単位：円）

口径別	φ 13mm	φ 20mm	φ 25mm	φ 30mm	φ 40mm	φ 50mm	φ 75mm
1 ヶ月	152	286	306	512	603	2,213	3,565

⑥新設改造審査及び検査手数料

（単位：円）

口径別	料金	口径別	料金
φ 13mm	25,000	φ 40mm	38,000
φ 20mm	28,000	φ 50mm	40,000
φ 25mm	34,000	φ 75mm	78,000
φ 30mm	36,000		

⑦給水再開手数料

1 件 5,000 円

⑧納付方法

使用料の徴収は、現金納付と口座振替納付の 2 種類で対応している。

⑨徴収状況

(単位：円)

使用料区分			調定額	収納額	未収額	収納率	不納欠損
水道 使用 料	現年 度分	5 年度	90, 974, 923	90, 767, 959	206, 964	99. 8%	0
		4 年度	89, 865, 292	88, 921, 697	943, 595	99. 0%	0
	過年 度分	5 年度	3, 579, 482	1, 000, 234	2, 579, 248	27. 9%	0
		4 年度	3, 459, 956	657, 845	2, 653, 887	19. 0%	166, 224
	5 年度合計		94, 554, 405	91, 768, 193	2, 786, 212	97. 1%	0
量 水 器 使 用 料	現年 度分	5 年度	5, 079, 626	4, 896, 193	183, 433	96. 4%	0
		4 年度	5, 209, 405	5, 152, 890	56, 515	98. 9%	0
	過年 度分	5 年度	164, 506	59, 331	105, 175	36. 1%	0
		4 年度	188, 305	65, 006	107, 991	34. 5%	15, 308
	5 年度合計		5, 243, 132	4, 955, 524	288, 608	94. 5%	0
5 年度 合計			99, 797, 537	96, 723, 717	3, 073, 820	96. 9%	0

⑩滞 納

以下のとおり滞納整理を実施し、過年度分の収納率向上に繋げた。

○現年度のみ滞納がある滞納者へは電話と文書による催促を実施した。

○現年度と過年度に滞納がある滞納者へは、電話と文書による催促に加え臨戸徴収を実施し、状況に応じて給水停止や取立訴訟を行う可能性がある旨の説明を行った。

(3) 施設維持管理（税込）

①主な原水修繕工事

三留野浄水場取水施設管理道水路修繕	55,000 円
三留野水源管理道環境整備	132,000 円

②主な浄水場修繕工事（税込）

三留野浄水場次亜注入配管修繕	209,000 円
塚野浄水場次亜注入ポンプ修繕	902,000 円
塚野浄水場避雷器修繕	330,000 円
三留野浄水場水質計器修繕	279,400 円
本谷配水池次亜注入ポンプ取替修繕	770,000 円

③主な配水管修繕工事（税込）

オガバ取水ゲート修繕	228,800 円
柿其水路橋下漏水修繕	143,000 円
本谷水道本管漏水修理	363,000 円
岩倉低区空気弁修繕	55,000 円

④水質管理

給水については毎月の定期項目検査、年1回の全項目検査、年1回の原水全項目検査、クリプト検査のほかに、消毒副生成物検査、臭気物質検査等を実施した。

施設管理については、遠隔監視装置による毎日の監視のほか、週2回各施設の巡回点検を実施した。

⑤汚泥搬出業務

三留野浄水場の汚泥搬出について業務委託により2回実施した。(12月)
合計処理量…3.9t 委託先:(有)田切クリーンセンター 上伊那郡飯島町
※処分汚泥に係る放射性物質測定を実施…各種放射性元素は検出されなかった。

(4) 上下水道審議会

1回の審議会を開催した。

◎第1回 … 10月31日(上下水道事業の現況について・小規模水道の現状について・
公営企業会計の適用について・リニア中央新幹線計画への対応について)

(5) 建設改良事業

- ・令和5年度 神戸ポンプ室送水ポンプ更新工事
工事費 3,850千円(請負者:日本エンジニア(株))
- ・令和5年度 大山高区検水機器更新工事
工事費 15,620千円(請負者:日本エンジニア(株))
- ・令和5年度 大沢田橋水管橋移設工事(本設・仮配管撤去)
工事費 27,115千円(請負者:田口土木(有))
- ・令和5年度 簡易水道事業経営認可に係る変更届出書作成業務
委託料 1,100千円(請負者:共和設計(株))

(6) リニア中央新幹線工事にかかる水道水源対策(リニア補償金事業)

○令和4年度リニア関連水道水源予備的措置水道管布設工事を第1工区から第8工区まで発注し完了した。

- | | | | | | |
|-------|----------|-----|----------|------|----------|
| ・第1工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 30,712千円 | 請負者: | (有)平田管業店 |
| ・第2工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 31,922千円 | 請負者: | (株)名工土木 |
| ・第3工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 36,531千円 | 請負者: | (株)名工土木 |
| ・第4工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 41,470千円 | 請負者: | (有)平田管業店 |
| ・第5工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 28,743千円 | 請負者: | (株)名工土木 |
| ・第6工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 34,232千円 | 請負者: | (有)平田管業店 |
| ・第7工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 29,260千円 | 請負者: | (株)松山建設 |
| ・第7工区 | 配水管リース契約 | 工事費 | 18,115千円 | 請負者: | 明和工業(株) |
| ・第8工区 | 配水管布設工事 | 工事費 | 32,890千円 | 請負者: | (有)平田管業店 |

○令和5年度工事で導水管布設工事第10-1工区と第10-2工区を発注した。

(7) 経営戦略の改訂

人口減少社会の到来や節水社会への移行、改良・更新需要への対応あるいは災害対策等の推進など経営環境の厳しさが増す中で、将来にわたって安定的に事業を継続するため、中長期的な視点に立った経営を行い、徹底した効率化・経営健全化に取り組む必要があるため、平成29年3月に策定した「簡易水道事業経営戦略」の改訂を行った。

(株)東京設計事務所…3,278,000円

(7) 地方公営企業法適用推進

令和3年度に特別会計から公営企業会計へ移行した。

3. 地方債の状況

地方債の償還額及び未償還金元金残高

(単位：円)

起債名	4 年度末	5 年度中増減		5 年度末
	未償還元金	借入金	償還元金	未償還元金
辺地対策事業債	1,500,227		299,986	1,200,241
過疎対策事業債	25,223,644		2,997,467	22,226,177
川向簡易水道事業債	9,304,923		949,949	8,354,974
大山・蘭簡易水道事業債	59,149,139	16,700,000	7,967,790	67,881,349
田立簡易水道事業債	245,354,838		24,129,383	221,225,455
北部簡易水道事業債	4,221,988		465,307	3,756,681
三留野・妻籠簡易水道事業債	158,921,322	12,900,000	28,987,102	142,834,220
補正予算債	3,074,466		540,865	2,533,601
公営企業会計適用債	11,231,250		1,600,000	9,631,250
災害復旧債	19,789,481		5,780,121	14,009,360
合 計	537,771,278	29,600,000	73,717,970	493,653,308

(別表 1)

令和 5 年度簡易水道関係主要事業

(単位：千円)												
事業名		事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳						備考	
					国庫支出金	県出支金	地方債	繰入金	繰越金	一般財源		その他
○施設更新改良事業												
令和5年度 大沢田橋水管橋移設工事	町	工事 一式	27, 115			9, 100				402	17, 613	令和4年度からの繰越 その他：県補償費
令和5年度 塚野浄水場次亜注入ポンプオーバーホール	町	工事 一式	902							902		
令和5年度 神戸ポンプ室送水ポンプ更新工事	町	工事 一式	3, 850			3, 800				50		
令和5年度 大山高区検水機器更新工事	町	工事 一式	15, 620			15, 500				120		
令和5年度 本谷配水池No.1次亜注入ポンプ取替修繕	町	工事 一式	770							770		
令和5年度 町道妻籠町中線災害復旧工事に伴う配水管仮 設及び移設工事	町	工事 一式	4, 240							640	3, 600	その他：県補償費
施設更新改良事業合計				52, 497	0	0	28, 400	0	0	2, 884	21, 213	
○リニア建設関連水道水源対策事業												
令和4年度 水道管布設工事第5工区	町	工事 一式	28, 743								28, 743	令和4年度からの繰越 その他：補償費
令和4年度 水道管布設工事第6工区	町	工事 一式	34, 232								34, 232	令和4年度からの繰越 その他：補償費
令和4年度 水道管布設工事第7工区	町	工事 一式	29, 260								29, 260	令和4年度からの繰越 その他：補償費
令和4年度 水道管布設工事第7工区リース	町	リース 一式	18, 116								18, 116	令和4年度からの繰越 その他：補償費
令和4年度 水道管布設工事第8工区	町	工事 一式	32, 890								32, 890	令和4年度からの繰越 その他：補償費
リニア建設関連水道水源対策事業合計				143, 241	0	0	0	0	0	0	143, 241	
合 計				195, 738	0	0	28, 400	0	0	2, 884	164, 454	

(単位：千円)